

令和7年度(2025年度) 人間関係学会総会・講演会の開催 『「音楽性」が導く情動の共有と調整ー母子の歌いかけ場面から考えるコミュニケーションー』

令和7年度大妻女子大学人間関係学会総会・講演会が、6月23日に多摩キャンパスの2号館大講義室にて開催され、学部生から大学院生にわたり、多くの参加者が訪れました。

人間関係学会は、人間関係学研究の進展と会員相互の親睦をはかることを目的として、大妻女子大学人間関係学部創立と共に立ち上げとなり、学生と教員が会員となり運営を行っています。取組みとしては、学部全体の講演会や 学科・専攻毎の分科会、機関誌や会報の刊行等が主なものです。



それらの活動の一環として、学科・専攻を超えて集う講演会が毎年6月に開かれますが、今年度は本学にて専任講師として教鞭をとっておられる、春日文先生(人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻)を講師としてお招きし、先生のご専門に特化した内容をお話し頂くことで、普段の授業とはひと味違った実践的な学びの時間が生き活きと展開しました。コミュニケーションというものが、母子の情動的な関わり(共有⇔専有)を基盤として発展していく様子が実際の映像を通してつぶさに分かるという、非常にライブ性の高い講演会となりました。

先生の語りに熱心に耳を傾ける学生さんの姿が多くみられ、講演会後のアンケート用紙にも多くの感想や心温まるメッセージ、そして質問が寄せられました。1時間という限られた時間でありながらも、充実した学びの時間となりました。講師の春日先生には参加者一同、心より感謝申し上げます。



文責:香月菜々子(研究委員会 委員長)